病院の統合により診療科が増えます。オープン病棟入院中の患者さんの状態の変化にも、迅速な対応が望まれるため、患者さんにも関い医にも多大なメリットがあります。オープン病棟を国内で初めて開設した公立病院として、今後も国の目指す地域包括型医療を確立し、地域のリーディングホスピタルとなることを大いに期待しています。

高齢者の多い小樽で、交通の便の良い場所に二つの病院が統合する新市立病院ができることは、とても安心できることだと思います。市立小樽病院に健診を行ったときに、ボランティアの方が親切に案内してくれたことがとても印象的でした。今後も市内の病院と協力して、さらに市民の利用しやすい病院にしてほしいと願っています。
消化器内科を新設

平成24年8月、市立小樽病院に「消化器内科」を新設しました。消化器内科とは、腹部（胃、大腸などの消化管、肝腎、胆囊、胆道など）に関わる病気を専門的に診療する診療科で、消化管出血（吐血・下血）、胆石、胆囊炎などの救急診療、異常性食道炎や慢性肝炎などの慢性疾患、腫瘍疾患（がんなどの悪性腫瘍）の診療を行います。

近年、悪性腫瘍が増加しています。消化器内科の診療でも大きな役割を占めているのが、がんの診断と治療です。外科や放射線科、緩和医療チームと連携しながら診療を行っています。

消化器疾患の診断には、胃・大腸内視鏡検査やバリウム検査、超音波、CT、MRI、血管造影など、さまざまな検査を行います。中でも、特に重要な役割を果たしているのが内視鏡検査です。内視鏡検査は、内視鏡を胃・大腸内に挿入し、内視鏡や普通のスコープを導入し、患者さんの負担を少なくするよう努めています。また消化管下内視鏡検査も行っています。

24年度中には、更に正確な诊断を行うため、超音波内視鏡下穿刺生検装置「EUS-FNA」を導入予定です。

【超音波内視鏡下穿刺生検装置「EUS-FNA」】

胃や食道、大腸などは、内視鏡により直接観察して組織を取り出し（生検）、異常を診断しています（病理診断）。消化管内視鏡下穿刺生検は、内視鏡以外の診断は非常に困難で、そのため胃・大腸の病態診断がつかないまま、治療を行わなければならないことがありました。

超音波内視鏡下穿刺生検装置（EUS-FNA）では、穿刺が可能な部位に穿刺をすることにより、組織を採取することができます。これにより、病理診断の精度が向上し、診断を行うことができるようにになりました。この技術は、消化管内視鏡下穿刺生検が可能となることが希望されます。

当院には病理医が常駐しており、さらに柔軟で緊密な連携のもと、診断を行えるようになります。

市立小樽病院

平成24年8月

『絵』第4号 2012年11月発行
冬に多い感染症の予防

インフルエンザ

ワクチンの接種
完全な予防ではないが
重症化、合併症予防に
効果がある。接種後約
2週間で抗体ができ、5
〜8カ月間効果が持続。

手洗いの励行
多数の人が触れる場所
に触った手で鼻や口の
粘膜に触れず
しわきなどが手に付い
たらすぐ洗う。

消毒液の作り方
①500mLのペットボトル
に水を半分入れる。
②家庭用漂白剤をキャップ
ツップ2杯（10mL）入れる。
③水を入れ500mLにする。

ノロウイルス

調理と配膳時に注意
調理の前後に手洗い。
貝類の調理は十分に
加熱（85℃、1分以上）。
貝類を調理した
まな板、包丁は消毒。

おう吐、下痢便の処理
手袋、マスク、ガウン
またはエプロン（使い捨て
で良い）を着用する。
①処理をする人以外を
遠隔化した役割を
②吐物、便などを拭き
取る。（外側から内側）
③消毒液で拭き取る。
④使用した物を密閉
し二重にして廃棄する。
⑤処理後には、しっかりと手洗いを行う。

アドバイザー
小樽市立脳・循環器・こころの医療センター
感染管理認定看護師 村上 圭子部長

現在後志管内には、私の他に
2名（市立小樽病院、JA 俊知安
厚生病院）の感染管理認定看護
師がいます。感染管理の知識を
広めるため、所属の病院だけで
はなく、さまざまな場所で講演を行っています。
今年6月に小樽市医師会主催で開催された医療
関係者向けの講演会には、342名の方が聴講に訪
れ、感染管理への関心の
高さがうかがえました。今後も感染管理に積極的
に取り組み、講演会の要
望も可能な限り対応して
いきたいと考えています。

写真提供：小樽市医師会

掲載号：第4号 2012年11月発行
かかりつけ医と市立病院をつなぐ
地域医療連携システム「ID-Link」
アイディーリンク

【小樽後志地域医療連携システム「ID-Link」とは】
かかりつけ医と小樽の両市立病院が保有している患者さんの診療情報の共有を行える地域医療連携のシステムです。医療機関が、互いの専門性や特長を生かして地域住民の健康管理を行うことができるため重要性を増し、注目されています。
「ID-Link」を利用するには、患者さんの同意とかかりつけ医の登録が必要となります。平成24年10月31日現在、8医療機関と連携しており、登録患者数は1050名です。皆さんもかかりつけ医と相談の上、ご登録ください。

市立小樽病院
小樽市立脳・循環器・こころの
医療センター

インターネット回線を利用した情報共有
診療情報観覧

市立病院新築資金基金について
平成24年10月31日現在、87件の寄付があり、基金現在高は6646万6384円となっています。基金の使途については、院内環境を向上させる整備等に充てる予定です。
引き続き、皆さんからの温かいご支援をお待ちしています。
問い合わせ先：病院局 経営管理部 管理課 TEL 0134(25)1211

市立小樽病院
小樽市若松1丁目2番1号 TEL 0134(25)1211

小樽市立脳・循環器・こころの医療センター
小樽市長橋1丁目11番1号 TEL 0134(33)4151

ホームページ

発行 小樽市病院局 編集 両院合同広報誌・HP 委員会
【事務局】経営管理部 管理課 TEL 0134(25)1211 内線304